

平成24年第1回小山町議会3月定例会会議録

平成24年2月27日(第2日)

召集の場所

小山町役場議場

開議

午前10時00分 宣告

出席議員

1番	阿部 司君	3番	池谷 弘君
4番	高畑 博行君	5番	桜井 光一君
6番	渡辺 悦郎君	7番	米山 千晴君
8番	湯山 鉄夫君	9番	梶 繁美君
10番	池谷 洋子君	11番	込山 恒広君
12番	鷹嶋 邦彦君	13番	真田 勝君

欠席議員

なし

説明のために出席した者

町 長	込山 正秀君	副 町 長	土村 暁文君
教 育 長	戸枝 浩君	企 画 総 務 部 長	小野 巖君
経 済 建 設 部 長	後藤 栄一君	住 民 福 祉 部 長	土屋 礼二君
教 育 部 長	高橋 忠幸君	会 計 管 理 者	高木 昇一君
企 画 調 整 課 長	室伏 博行君	総 務 課 長	秋月 千宏君
税 務 課 長	湯山 正敏君	福 祉 課 長	田代 順泰君
住 民 課 長	岩田 英信君	健 康 課 長	羽佐田 武君
生 活 環 境 課 長	高橋 裕司君	防 災 室 長	鈴木 陽一君
建 設 課 長	鈴木 哲夫君	農 林 課 長	池谷 和則君
商 工 観 光 課 長	遠藤 一宏君	都 市 整 備 課 長	小野 克俊君
上 下 水 道 課 長	吉川 保利君	学 校 教 育 課 長	小野 学君
生 涯 学 習 課 長	土屋 和彦君	総 務 課 副 参 事	岩田 芳和君

職務のために出席した者

議 会 事 務 局 長 鈴木 豊君

会議録署名議員

1番	阿部 司君	3番	池谷 弘君
----	-------	----	-------

散 会

午前11時44分

(議 事 日 程)

- 日程第 1 議案第23号 平成24年度小山町一般会計予算
- 日程第 2 選挙第24号 平成24年度小山町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 3 議案第25号 平成24年度小山町育英奨学資金特別会計予算
- 日程第 4 議案第26号 平成24年度小山町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第 5 議案第27号 平成24年度小山町下水道事業特別会計予算
- 日程第 6 議案第28号 平成24年度小山町土地取得特別会計予算
- 日程第 7 議案第29号 平成24年度小山町介護保険特別会計予算
- 日程第 8 議案第30号 平成24年度小山町下水道事業会計予算

議

事

午前10時00分 開議

○議長（真田 勝君） 本日は御苦労さまです。

ただいま出席議員は12人です。出席議員が定足数に達しておりますので、小山町議会は成立しました。

ただいまから本日の会議を開きます。

本日の議事日程はあらかじめ配付したとおりですから、朗読を省略いたします。

日程第1 議案第23号 平成24年度小山町一般会計予算

○議長（真田 勝君） 日程第1 議案第23号 平成24年度小山町一般会計予算を議題とします。

各部長から補足説明を求めます。はじめに、企画総務部長 小野 巖君。

○企画総務部長（小野 巖君） 平成24年度一般会計予算の企画総務部関係の補足説明を行います。

はじめに、歳入から御説明申し上げます。

予算書の9ページをお開きください。1款町税の総額では38億1,639万6,000円と、平成23年度に比べ1億557万円、率にして2.7%の減となっております。この内訳といたしまして、1項町民税は14億2,510万円で、町税全体の37.3%、2項固定資産税は22億1,872万円で、町税全体の58.1%と、これらが町税収入の大半を占めております。

3項軽自動車税は3,940万円で、町税全体の1.0%、4項町たばこ税は1億3,300万円で、町税全体の3.5%、5項の入湯税につきましては17万6,000円となっております。

それでは、税目ごとに御説明いたします。

20ページをお開きください。1款1項町民税の1目個人の1節現年課税分ではありますが、前年度対比で5,100万円、4.9%増の10億9,700万円を見込みました。増額の要因ではありますが、税制改正に伴い、年少扶養控除が廃止されたことと、特定扶養親族における上乘せ部分の扶養控除が廃止されたことなど、給与収入はわずかに減少することが見込まれるものの、全体的には増額を見込みました。

次に、その下の2目法人税の1節現年課税分ではありますが、対象法人数は439社となっております。政府の平成24年度の経済見通しは、本格的な東日本大震災の復興施策の集中的な推進によって、着実な需要の発現と雇用の創出が見込まれ、国内需要が成長を主導するという一方で、国内総生産は2%程度成長すると見込んでおりますことから、平成23年度の決算見込み等を基礎とし、前年度対比1,000万円、3.2%増の3億2,000万円としたところであります。

次に、21ページをお開きください。2項1目固定資産税の1節現年課税分の調定見込額ではありますが、土地につきましては、引き続き土地価格は下落しており、前年度対比1,660万4,000円、2.2%減の7億2,322万6,000円で計上をいたしました。

家屋につきましては、昨今の物価水準を勘案し、固定資産評価基準の一部が見直されたことに

より、再建築評点補正率が改正されたため、前年度対比9,060万4,000円、10.2%減の7億9,111万6,000円としたところであります。

償却資産につきましては、平成23年度の実績見込みを基礎とし、町内企業の積極的な設備投資状況が確認できないことから、前年度対比7,751万8,000円、9.7%減の7億1,468万6,000円といたしました。

土地、家屋、償却資産の調定見込額に収納率を98.3%と見込み、純固定資産税全体では、前年度対比1億7,447万8,000円、7.4%減の21億9,800万円を見込んだところであります。

次に、22ページ3項1目軽自動車税1節現年課税分であります。250cc以下の二輪車は減少傾向にある中、軽四輪乗用車が前年度対比で約200台増加しております。このようなことから、2.6%増の3,930万円を見込んだところであります。

次に、23ページ4項1目町たばこ税につきましては、近年の健康志向により喫煙者数の減少傾向が続く中ではありますが、税制改正により平成22年10月から税率の引き上げが実施されており、平成23年度決算見込額を基礎といたしまして、前年度対比1,300万円、10.8%増の1億3,300万円を見込んだところであります。

次に、25ページをお開きください。6款1項1目地方消費税交付金2億3,500万円は、平成6年の税制改正により創設されたもので、前年度と同額であります。県からの市町交付金の見込額等から推計し計上したものであります。

次に、26ページ7款1項1目ゴルフ場利用税交付金2億5,000万円は、前年度に比べ1,500万円の減額を見込みました。平成23年度現時点の利用者数は、対前年比3.7%の減であり、近年の景気の影響や、特に団塊の世代に続く世代のプレーヤーの減少等により、交付金の減少が見込まれる状況となっております。

次に、8款1項1目自動車取得税交付金3,900万円です。前年度に比べ600万円の減額になっておりますが、エコカー減税と補助金の影響が期待されるものの、現下の経済状況を勘案して、見込額を推計して計上したものであります。

次に、27ページをお願いします。11款1項1目地方交付税3億2,300万円です。前年度に比べ4,300万円の増額になっておりますが、平成24年度においては、基準財政収入額で固定資産税の減収と、基準財政需要額で特別枠として、地域経済基盤強化・雇用等対策が交付税措置されることなどから、交付税見込額を算定し、計上したものであります。

次に、34ページをお願いします。15款2項7目特定防衛施設周辺整備調整交付金2億620万円は、防衛施設関連市町村に対し交付されるもので、通常分として見込んだものであります。

次に、39ページをお開きください。16款2項9目特別対策事業補助金の1節緊急雇用創出事業補助金4,346万5,000円は、国の施策により、現下の雇用失業情勢に鑑み、短期の雇用、就業機会を創出・提供するために、町内環境美化推進事業や富士登山ナビゲーター、スコリア土壌森林内緊急整備事業など8事業を実施するもので、雇用者は22人を予定しております。

次に、41ページをお開きください。17款1項1目財産貸付収入3億1,228万3,000円の主なものは、1節土地貸付収入の説明1東富士演習場貸付料2億9,200万4,000円で、前年度対比1.1%の増で、その貸付面積は252万8,707.74平方メートルであります。

次に、42ページ17款2項1目不動産売払収入の1節土地売払収入4,990万円の主なものは、大御神地先の町有貸付地を、吉久保山野組合に4か年分納により払い下げた4年目分と、駿河幼稚園跡地及び富士紡工場長宅跡地の一部売却を見込んだものであります。

次に、45ページをお開き願います。19款2項基金繰入金について御説明いたします。2目教育施設準備基金繰入金3,237万5,000円は須走小学校の体育館外構整備やプール上屋解体等に充てるために、3目東富士演習場関連特定事業基金繰入金2億520万円は、基金に積み立てた特定防衛施設周辺整備調整交付金を、保育園、幼稚園の運営や医療費助成などのために、それぞれ必要な財源として繰り入れるものであります。

次に、歳出について御説明いたします。

55ページをお開き願います。2款1項1目一般管理費の次のページ(2)一般行政事務費のうち、1節報酬、総合相談員報酬130万円は、日常生活上の悩み、町政に対する苦情、疑問等、相談窓口の一元化を図るため設置する総合相談室の相談員報酬で、役場職員OB2名を予定しています。

次に、59ページ(6)町制100周年記念事業費2,000万円は、19節負担金補助及び交付金で、本年8月1日に町制施行100周年を迎えるに当たり、町制施行100周年委員会に交付し、1年を通じて各種記念事業を実施するものであります。

次に、61ページをお開きください。2款1項4目財産管理費2億2,829万9,000円は、前年度と比較しますと2億751万9,000円の大幅な増となっておりますが、その主なものは、(2)財産管理費のうち、17節公有財産購入費の2,050万1,000円で、富士紡工場長宅跡地を御殿場市小山町土地開発公社から買い戻すものと、次の62ページ(3)基金管理費の25節積立金の財政調整基金へ5,000万円、特定防衛施設周辺整備調整交付金、いわゆる防衛9条交付金を東富士演習場関連特定事業基金へ1億5,420万円を積み立てるものであります。

次に、67ページ下段から68ページにかけての2款1項7目電算管理費の(2)電算管理費4,095万1,000円の主なものは、住民票等の交付や住民情報の検索及び財務会計処理等を行うための総合行政システム機器使用料など13項目の使用料であります。

次に、70ページをお開きください。2款1項9目の諸費、(2)臨時職員福利厚生費3,534万円は、来年度予定しています約170名の臨時職員のうち、約90名に係る社会保険料2,831万7,000円が主なものでございます。

次に、79ページをお願いします。2款7項1目企画渉外総務費の(2)企画調査費、次のページの13節委託料、足柄駅舎及び周辺整備事業100万円は、足柄駅を交流の場、情報発信の場としてリデザインし、魅力ある駅になるよう、研究、検討し、将来まちづくり交付金事業として採択さ

れるよう実施するものでございます。

19節負担金補助及び交付金、金太郎計画2020事業交付金50万円は、小山町を元気にするための方策を、町内5地区で地区担当職員を中心に、それぞれの地区の皆さんや小山町出身者と協働で調査・検討するためのものでございます。

次に、ずっと飛びますが、202ページをお開きください。11款1項公債費1目元金7億4,304万2,000円は、対象本数189本に対する町債の償還元金であります。また、その下の2目利子の1億3,164万3,000円の主なものは、対象本数211本の町債の償還利子及び一時借入金利子であります。

以上で、企画総務部関係の説明を終わります。

○議長（真田 勝君） 次に、住民福祉部長 土屋礼二君。

○住民福祉部長（土屋礼二君） 平成24年度一般会計予算、住民福祉部関係の説明を行います。

まず、歳入から説明いたします。

36ページをお願いします。下段の16款2項1目総務費県補助金の2節自治振興費補助金の説明1コミュニティセンター助成事業補助金1,500万円は、用沢区コミュニティセンター建設に対して、財団法人自治総合センターから町を通じて交付される補助金であります。

次のページの下段、3目衛生費県補助金の1節保健衛生費県補助金2,615万7,000円は、こども医療費、妊婦健康診査、予防接種等の事業への、県から交付される補助金であります。

続いて、歳出について御説明いたします。

65ページをお願いします。6目自治振興費の次のページ（3）区運営費19負担金補助及び交付金、区長交付金650万円と区運営交付金1,450万円は、区長及び区への運営費として交付するものであります。

次に、74ページをお願いします。1目戸籍住民基本台帳費（2）戸籍住民基本台帳事務費13委託料、住民基本台帳連携システム改修589万3,000円は、前年度、外国人住民を住民基本台帳法の適用対象とするシステムに改修したものを、さらに税や国民健康保険、介護保険等の関連システムと連携させるためのシステムを構築するものであります。

次に、89ページをお願いします。2目障害者福祉費の次のページの下段（3）重度心身障害児（者）援護費20扶助費、重度障害者（児）医療費扶助3,350万円は、医療費の個人負担分を助成するもので、県の補助制度の改正に合わせ、新たに平成24年10月から精神障害者保健福祉手帳1級の方にも助成を開始するものであります。

次のページの（5）自立支援給付費20扶助費、障害介護給付費の1億9,709万円は、身体障害者、知的障害者及び精神障害者の入所支援費や居宅介護、グループホーム、ケアホームの利用など、障害のある方の施設入所支援に対する支援費が主なものであります。この支援費に対する国及び県の負担率は、国が2分の1、県が4分の1で、歳入予算にそれぞれ障害者自立支援給付費負担金として計上しております。

（8）地域生活支援事業費は、13委託料の地域活動支援センター事業費と障害者相談支援事業

及び次のページの20扶助費、重度身体障害児（者）日常生活用具扶助と、障害児（者）日中一時支援事業が主なもので、これは障害者自立支援のため、それぞれ障害のある方が在宅で利用するサービスを支援するものであります。

97ページをお願いします。1目老人福祉総務費の下段（4）老人保護措置費の20扶助費、老人措置費4,500万円は、町が措置して養護老人ホームへ入所している19人分の老人保護措置費であります。

次に、98ページの3目後期高齢者医療費は、医療制度改革により平成20年4月から施行された後期高齢者医療制度に係る経費を計上したもので、次のページの（2）後期高齢者医療事業費13委託料、健康診査業務1,335万8,000円と、（3）後期高齢者医療負担金19負担金補助及び交付金、静岡県後期高齢者医療医療給付費負担金1億6,142万9,000円が主なものであります。

次に、100ページ3項1目児童福祉総務費の次のページの（5）児童発達支援事業費は、児童福祉法の改正により、平成24年度から県から町に移譲される事業で、主なものは20扶助費、障害児保育給付費1,360万円で、障害児の通所を支援するものであります。この支援費の財源である国及び県負担金については、それぞれの負担率を乗じて歳入予算に計上しております。

2目子どものための手当費（2）子どものための手当費20扶助費、子どものための手当2億6,281万5,000円は、対象となる全体的な子どもの数として、延べ人数2万3,297人分、支給金額として3歳未満児を月額1万5,000円、3歳から小学校修了前の第1子・第2子を月額1万円、第3子以降を月額1万5,000円、小学校修了後から中学校修了前を月額1万円見込みました。子どものための手当関係の財源であります。国及び県負担金については、それぞれの負担率を乗じて歳入予算で計上しております。

次に、110ページをお願いします。4款1項1目保健衛生総務費、（3）救急医療対策事業費の次のページ19負担金補助及び交付金、御殿場市救急医療センター負担金6,048万1,000円は、救急医療センター運営費の総支出額から収入額を差し引いた不採算分を御殿場市と人口割にて負担するものであります。

同じく4行目の医療施設耐震化整備事業負担金2,500万円は、第2次救急医療施設である有隣厚生会富士病院が平成23年度から25年度までの3年間で実施します耐震化増改築事業に係る負担金で、2億5,000万円を御殿場市とともに負担するもので、小山町分5,000万円を3年間で、毎年度末の出来高により負担するものであります。平成24年度においては50%の出来高が見込まれるため、2,500万円を計上しております。

2目予防費の（2）感染症予防費の次のページ13委託料、個別接種5,500万円は、ポリオ、麻疹風疹、高齢者のインフルエンザ・肺炎球菌等の予防接種と、昨年に引き続き実施いたします子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種事業に係る医師及び医療機関への委託料であります。

続きまして、3目健康づくり推進事業費の次のページ（3）生活習慣病予防費の13委託料、保

健事業3,100万円は、各種がん検診に係る費用で、医師会及び医療機関への委託料です。

続きまして、4目母子保健事業費の次のページ(2)母子保健事業費13委託料、保健事業1,300万円は、妊婦健康診査及び乳児健診に係る費用で、医師及び医療機関への委託料であります。

また、20扶助費、出産祝金支給550万円は、新規事業のサンセット方式による事業であり、第2子目に5万円、第3子目以降に10万円を支給する新規事業であります。

(3)こども医療費助成費の次のページ20扶助費、こども医療費助成7,500万円は、ゼロ歳児から中学3年生までの入院・通院に係る医療費の自己負担額を全額助成する事業であります。

次に、2項1目環境保全総務費(2)環境衛生費1報酬、環境基本条例制定委員会委員報酬16万円は、平成25年度に環境基本計画を策定するための条例制定委員の報酬であります。

次のページ中段(3)環境保全費19負担金補助及び交付金2行目合併処理浄化槽設置奨励事業補助金1,722万8,000円は、河川の汚染防止、環境保全等を図るため、合併浄化槽45基分の設置補助金であります。

次のページの上段(4)ごみ減量リサイクル推進事業費19負担金補助及び交付金、資源リサイクル活動奨励交付金200万円は、資源リサイクル活動を実施する子ども会、PTA、婦人会等への活動交付金で、ごみの減量化等を推進・奨励するものであります。

(5)電気自動車用急速充電設備設置事業費15工事請負費、急速充電器設置1,100万円は、道の駅「ふじおやま」と道の駅「すばしり」に電気自動車の急速充電器をそれぞれ1基、国のクリーンエネルギー自動車等購入促進対策事業補助金と、県の電気自動車用充電設備設置費補助金を充当して設置するものであります。

118ページをお願いします。3項1目清掃総務費の次のページ(2)塵芥収集事業費7賃金、臨時職員賃金510万4,000円は、不法投棄防止のため町内パトロール、廃棄物の回収を行う2人分の人件費で、雇用創出事業補助金を財源に実施するものであります。

13委託料、塵芥収集運搬3,965万9,000円は、家庭から搬出される一般廃棄物のごみ収集運搬で、町内を4地区に分けて実施しているものであります。

2目塵芥処理費(2)塵芥処理費13委託料、一般廃棄物中間処理2,350万円は、缶、瓶、ペットボトルの分別、小型家電製品の破砕処理などを行う中間処理に係るものであります。

その下の一般廃棄物最終処分場浸出水施設管理159万2,000円は、生土最終処分場の排水処理施設の管理に係るものであります。

次のページの上段19負担金補助及び交付金、桑木区公民館改修事業交付金2,000万円は、桑木区公民館建設経費相当額の一部金額として交付するものであります。

続いて、8款消防費について説明いたします。159ページをお願いします。下段2目非常備消防費の次のページ(2)消防団運営費1報酬、消防団員報酬620万円は、団員176名分の報酬であります。

9旅費、費用弁償1,300万円は、消防団員の災害出動や訓練等に対する費用弁償であります。

次のページの下段(3)消防団消防施設維持管理費13委託料、建設工事管理190万円と、15工事請負費、消防第5分団車庫詰所建設工事4,895万円は、昭和52年3月に建設され35年が経過し、耐震化が求められていることから、新たに消防第5分団車庫詰所を建設するための工事監理と工事費であります。

次のページの3目消防施設費(2)消防施設費15工事請負費、耐震性貯水槽更新1,250万円は、消防第5分団車庫詰所敷地内と、社団法人一色郷栄会様からの寄附による一色防災会館敷地内に、40トン耐震性貯水槽をそれぞれ1基更新するものであります。

次のページの5目災害対策費(2)地震対策費の次のページ15工事請負費、災害対策本部体制強化整備費700万円は、文化会館へ設置する災害対策本部体制強化整備の無線及び電気設備等の工事費であります。

次のページの6目無線設備管理費の次のページの下段(4)デジタル行政無線機整備事業費は、本年度と来年度の2か年で、総額2億440万円で行政無線をアナログからデジタルに変更するもので、演習場周辺民生安定施設整備事業費補助金を充当して、本年度は18備品購入費、デジタル行政無線機2,850万円で無線統制局2台、半固定局1台の無線機購入及び設置費であります。

以上で、住民福祉部関係の説明を終わります。

○議長(真田 勝君) 次に、経済建設部長 後藤栄一君。

○経済建設部長(後藤栄一君) 一般会計における経済建設部関係の補足説明を行います。

はじめに、歳入関係であります。

予算書28ページをお願いいたします。13款1項1目農林水産業費分担金の1節農業費分担金1,467万5,000円は、平成22年度からスタートいたしました大胡田ほか4地区で実施される県営中山間地域総合整備事業に伴う圃場整備工事等に対する地権者からの分担金が主なものであります。

次に、30ページをお願いいたします。14款1項5目商工使用料の1節町民いこいの家使用料5,083万6,000円の主なものは、説明1入浴施設利用料4,537万5,000円でありまして、あしがら温泉の今年度の入浴利用者実績を考慮した利用見込みで計上した額に、2市1町相互利用者などの使用料を含め、前年度当初予算より3.5%の増額を見込みました。

2節地域振興センター使用料、説明1施設使用料2,550万円は、今年度の株式会社ふじおやま及び農産物出荷組合、株式会社富士小山企画の売上の5%と、イベント広場の利用に対する使用料の実績を参考に計上した見込額であり、前年度当初予算より13.8%の増額を見込んだものであります。

次に、31ページをお願いいたします。6目土木使用料3節住宅使用料6,400万円は、390世帯の入居者をもとに、平成23年度の決算見込みを考慮して計上したものであります。

次に、33、34ページをお開き願います。15款2項3目土木費国庫補助金の1節住宅費補助金、説明4社会資本整備交付金事業250万円は、町営住宅の建設及び改善等の際、地域住宅交付金事業を活用するために必要となります公営住宅長寿命化計画策定に対する交付金であります。

その下の6目災害復旧費国庫補助金の1節農林水産施設災害復旧費補助金5,883万6,000円は、説明2農地農業用施設災害復旧費補助金の過年災分5,711万6,000円が主なもので、藤曲用水関係の農地2か所、農業用施設2か所に対する農林水産省からの補助金であります。

次に、38ページをお開き願います。16款2項4目農林水産業費県補助金の1節農業費補助金、説明4中山間地域等直接支払い交付金596万2,000円は、平成22年度から第3期の事業として引き続き実施されることになった中山間地域等直接支払事業で、従前の湯船ほか8地区に竹之下所領地区を加えた10地区に対する県からの補助金であります。

その下、2節林業費補助金2,147万8,000円の主なものは、説明4県単治山事業補助金1,800万円で、生土ほか2地区の治山工事に対する県からの補助金であります。

その下、5目土木費県補助金の1節土木管理費補助金469万5,000円は、竹之下の一部の所領地区と小山地区の一部の地籍調査事業に対するもので、補助率は75%となっております。

その下、2節道路橋梁費補助金945万円は、平成23年度から工事に着手しております菅沼天神下B急傾斜地崩壊防止事業に対するもので、補助率は45%であります。

次に、47ページをお開き願います。21款4項1目商工費元利収入、1節勤労者住宅建設資金元利収入7,497万1,000円は、平成24年度より新規申請分は利子補給事業で対応することとしたため、前年度末までに実施した旧制度の預託金残高を一般会計へ繰り入れるものであります。

次に、49ページをお開き願います。21款6項1目雑入の2節雑入、説明15富士山須走口五合目トイレ使用協力金500万円は、使用料1人200円に対する、平成23年度の利用実績を参考に見込んだものでございます。

その下、説明16地域振興センターテナント管理費1,567万5,000円は、道の駅「ふじおやま」地域振興センター内の電気料、日常清掃等の年間維持管理費について、テナント貸ししている面積割合により、株式会社ふじおやまが47%、農産物出荷組合が13%、株式会社富士小山企画が13%をそれぞれ負担していただくものでございます。

次のページ説明43道の駅観光交流センター施設利用料2,500万円は、道の駅「すばしり」の指定管理者株式会社ピカよりの施設利用料で、年間販売目標額である5億円の5%を計上いたしました。

以上が歳入であります。

引き続き、歳出関係について御説明いたします。

次に、126ページをお開き願います。5款1項6目土地改良事業費、説明欄(4)町単土地改良事業費の15節工事請負費900万円は、大倉開田排水路改修工事など、地元から要望がありました用水路等の改修工事3件の工事を実施するための工事費であります。

次のページをお願いいたします。8目中山間地域総合整備事業費の次のページ上段19節負担金補助及び交付金の説明欄、県営中山間地域総合整備事業負担金3,300万円は、平成22年度からスタートしました足柄金時地区で実施される圃場整備工事等に対する県への負担金であります。

その下、9目経営体育成基盤整備事業費の19節負担金補助及び交付金、説明欄、県営経営体育成基盤整備事業費負担金の1,600万円は、北郷北部地区の上野・中日向地内での圃場整備工事に対する県への負担金であります。

その下、10目中山間地域直接払推進事業費795万円は、収入でも御説明しましたが、特定農山村法指定地区である湯船地区8地区に竹之下所領地区を加えた、39.6ヘクタールの中山間地域において、耕作放棄地の発生を防止し、農業生産活動及び水路・農道等の維持管理などに取り組むための事業費であります。

次に、130、131ページをお願いいたします。5款2項1目林業総務費の次のページ説明欄(3)森林整備事業費13節委託料、スコリア土壌森林内緊急整備事業2,100万円は、緊急雇用創出事業の県の補助金を受けて、町内の土砂流出箇所内の森林内において、下層植生の回復を図るため、木さくや土壌改良を実施するものであります。

次に、132ページをお願いいたします。5款2項3目地産事業費の15節工事請負費3,000万円は、収入でも申し上げましたが、生土地区ほか2地区において治山事業を県費補助事業にて実施する工事費であります。

次に、その下、133ページ6款1項1目商工振興費のうち、説明欄(2)商工業振興費846万円は、小山町商工会など、商工関係の団体に交付する補助金が主なものであります。

続いて、134ページ説明欄(4)勤労者支援7,820万1,000円の主なものは、駿東勤労者福祉サービスセンター負担金303万5,000円と、勤労者住宅建設資金貸付預託金の過年度分7,497万1,000円であります。勤労者住宅建設資金の平成24年度申請分については、説明欄6の定住人口拡大事業費の中、個人住宅取得利子補給金と統合し、利用者サービスの向上と実質補てん額の増額を図りました。

次に、その下、135ページをお願いいたします。6款2項1目観光費のうち、説明欄(2)観光振興費2,052万円は観光協会とお祭りに対する助成金が主なものであります。

次に、137ページの説明欄(4)富士山事業費は、富士山にかかわる事業で、富士山口5合目周辺施設の維持管理に要する経費と、5合目の電化を進めるための経費が含まれております。

次のページ説明欄(5)交流人口拡大事業費は、外客誘致キャンペーン事業と自転車のサイクリングコース等を整備計画する自転車まちづくり事業のための経費が主なものであります。

次に、139ページの説明欄(7)富士箱根トレイル等維持管理費は、富士箱根トレイルをはじめ、町内のハイキングコースの維持管理に要する経費であります。

次に、140ページをお開き願います。2目町民いきいの家管理費3,653万1,000円は、施設の維持管理費として、前年度実績を踏まえ、年間の必要経費を計上したものであります。なお、4月1日から開館時間を1時間延長することによる経費もここに見込んでございます。

次ページの3目道の駅管理費2,611万2,000円のうち、説明の(2)道の駅地域振興センター管理費は、道の駅「ふじおやま」地域振興センターの維持管理費として、次のページ説明の(3)

道の駅観光交流センター管理費は、道の駅「すばしり」観光交流センターの維持管理費として、それぞれ前年度の実績を踏まえ、年間の必要経費を計上したものであります。

次に、145ページをお開きください。7款1項2目地籍調査事業費2,652万5,000円の主なものは、先ほど収入でも御説明しましたが、説明欄（2）地籍調査事業費で、竹之下地区の所領の一部と小山地区の一部を合わせて0.37平方キロメートルの国土調査を実施するものであります。

次に、147ページをお開きください。2項2目道路維持費5,207万4,000円の主なものは、説明欄（3）公共施設地区対応事業費の15節工事請負費で、各地区からの要望に対応する道路維持補修事業と、カーブミラー、ガードレールなどを設置する安全施設整備事業を合わせて4,500万円であります。

次に、148ページをお願いいたします。3目町道整備事業費1億9,679万4,000円の主なものは、説明欄（3）清掃センター周辺整備条件事業費の15節工事請負費、桑木地内の町道2256号線の改良舗装工事3,100万円と、説明欄（4）新東名側道整備事業費の17節公有財産購入費で、町道3975号線の道路用地の購入費1億3,000万円であります。

次に、149ページをお願いいたします。4目急傾斜地崩壊防止対策事業費は、先ほど収入でも御説明しましたが、15節工事請負費の菅沼天神下Bほか1地区の急傾斜地崩壊防止事業費の2,810万円が主なものであります。

次のページ3項1目河川費6,243万4,000円ではありますが、平成23年度防衛9条交付金を充当して実施する予定でしたが、台風災害のため取りやめとなった15節工事請負費の河川改修事業、須走排水路改修工事の5,810万円が主なものであります。

次に、152ページをお願いいたします。7款4項2目都市計画費、説明欄（3）都市計画マスタープラン策定事業費の13節委託料の都市計画マスタープラン策定業務委託費350万円は、平成24年から2か年の債務負担行為を設定し、小山町の第4次総合計画などとの計画の整合性を確認し、現在の都市計画マスタープランの見直しも行い、町の土地利用の方針を策定するものであります。

次に、7款4項2目都市計画費、説明欄（4）地区計画策定事業費の13節委託料の菅沼地域計画策定業務300万円は、市街化区域の計画的な整備を推進するために、地域住民による（仮称）まちづくり協議会を設立した上で、地区住民の皆さんの意向を反映させ、地区計画を活用した整備計画を策定するための委託料であります。

次に、154、155ページをお開き願います。7款4項4目新東名対策費の説明欄（2）新東名対策費の13節委託料、小山PA（仮称）スマートインターチェンジ設置調査300万円は、連結許可に向けた交通量の推計や、費用対便益を導き出すための調査業務であります。

次に、157ページをお開き願います。7款5項1目住宅管理費の説明欄（2）町営住宅維持管理費の11節需用費、修繕料1,300万円は、町営住宅建物等の修繕に要する費用であります。

次に、14節使用料及び賃借料の1,466万9,000円は、28名の方と賃貸借契約をしております町営

住宅敷地の賃借料であります。

次に、158、159ページをお開きください。7款5項2目建築指導費、説明欄（2）建築指導費の19節、最下段、定住促進事業助成金2,000万円は、定住人口拡大を図るため、町外からの転入者の増加を図るとともに、町外への流出を抑制するために新たに創設します事業の助成金であります。

次に、199ページをお開き願います。10款1項1目農地農業用施設災害復旧費、説明欄（3）農業用施設災害復旧費は、次ページの13節農災県委託業務6,796万3,000円が主なもので、藤曲用水関連の施設災害2か所について、静岡県東部農林事務所に委託するものでございます。

その下、2目林道施設災害復旧費1,107万円は、15節工事請負費700万円が主なもので、現年災分の160万円と、災害査定対象にならず町単独で実施する町単独災害復旧事業費540万円であります。なお、補助対象となるものは、平成23年度予算で措置をしております。

次に、その下、201ページをお願いいたします。10款2項1目公共土木施設災害復旧費7,336万2,000円の主なものは、昨年4月の町道原向中日向線道路陥没災害の復旧工事費や、県が実施している災害に関連する町単工事、災害復旧事業の工事請負費5,200万円であります。

以上で、経済建設部関係の補足説明を終わりにします。

○議長（真田 勝君） 次に、教育部長 高橋忠幸君。

○教育部長（高橋忠幸君） 教育部関係の補足説明をいたします。

はじめに、歳入についてであります。

予算書29ページをお願いします。上段の13款2項1目民生費負担金の2節児童福祉費負担金、説明欄1保育所保育料8,188万8,000円は、園児数340人で計上しました。

次に、31ページの14款1項7目教育使用料の1節幼稚園使用料2,464万4,000円は、幼稚園の授業料で、1人月額6,100円、園児数340人で計上しました。

次に、49ページをお願いします。21款6項1目2節雑入の説明欄の中段22文化会館自主事業収入1,200万円は、小山町制100周年の記念事業を含めた自主公演事業に係るもので、前年度比81.8%の増となっています。

次に、歳出についてであります。

予算書の102ページをお願いします。3款3項3目保育園費3億6,528万2,000円は、町立保育園4園の経費であります。目全体で前年度に比べ4,651万4,000円の減額となっていますのは、前年度はいきど、すがぬま保育園のリニューアル工事があったためであります。

103ページ下段から104ページにかけての（3）保育園維持管理費の15節すがぬま保育園園庭芝生化工事100万円、18節園庭芝生管理用備品42万円等で、すがぬま保育園園庭を芝生化します。

また、105ページ（5）きたごう保育園改築事業費の主なものは、15節の園舎敷地造成工事4,500万円であります。

なお、保育園の2月1日現在の入園申込者数は、町内保育園の申し込みが324人、他市町からの

受託が8人の、合計332人、また町外への保育委託が17人となっております。

次に、106ページからの4目子育て支援費8,442万2,000円は、子育て支援事業として町内4保育園で実施していますぺんぎんランドに係る職員人件費や臨時職員の賃金、107ページの(3)放課後児童クラブ費2,467万3,000円が主なものであります。この(3)放課後児童クラブ費の15節解体工事173万3,000円は、須走小学校の旧放課後児童クラブの解体工事費であります。なお、目全体で前年度に比べ2,916万4,000円減額となっておりますのは、須走小学校放課後児童クラブの建設工事が終了したためであります。

次に、9款の教育費関係をお願いします。予算書の167ページからになります。167ページ下段からの9款1項2目の事務局費9,641万6,000円の主なものは、(1)職員人件費で、教育長を含む職員の人件費が主なもので、そのほかに169ページの(3)の児童生徒・教職員の健康管理に係る健康管理事業費344万8,000円、170ページ(5)こども相談事業費242万7,000円が主なものとなっております。

次に、171ページをお願いします。9款2項小学校費の1目学校管理費1億9,095万4,000円は、前年度に比べ4億5,303万1,000円減額となっております。これは須走小学校体育館の建築工事が平成23年度で終了したためであります。

(2)小学校管理運営費の7節賃金は、スムーズな学校経営と子どもたちの学習支援のため、非常勤講師、特別支援員、図書室支援事務員等の賃金であります。特別支援員は平成23年度から3人増員の11人に、また図書室支援事務員は1人増員の2人分を計上し、中学校費の2人と合わせて4人体制となります。

173ページ上段の15節小学校整備事業3,170万円は、須走小学校体育館建築に伴う外構工事が主なものであります。

次に、177ページをお願いします。2目教育振興費の(2)小学校教育振興費の8節謝礼等45万円は書道教室講師の謝礼で、11節消耗品費50万円は書道教室開設のための消耗品購入費であります。新たに小学校1年生と2年生を対象に書道教室を始めるものであります。

178ページからの3項1目中学校費の学校管理費であります。小学校費と同じく、中学校3校の管理運営に係るものであります。179ページの(2)中学校管理運営費の7節賃金は、小学校費と同じく特別支援員と図書室支援事務員が増員となっております。

183ページをお願いします。2目教育振興費の主なものは(2)中学校教育振興費の13節外国人英語指導員派遣の委託料514万5,000円であります。

184ページから185ページにかけて、3目小山中学校改築事業費247万円は継続費の4年目で、最終年度を予定しております。

次に、その下の9款4項1目幼稚園費1億3,746万4,000円は、幼稚園の管理・運営に係る経費で、2月1日現在の申し込み人数は4園合わせて329人で、15クラスの編成を予定しております。

187ページの(2)幼稚園管理運営費の15節駿河小山幼稚園園庭芝生化工事100万円は、駿河小

山幼稚園の園庭芝生化の工事費であります。

次に、189ページをお願いします。9款5項1目社会教育総務費6,644万円は、前年度比1,471万8,000円の減額となっています。これは緊急雇用創出事業で実施していました古文書解読者育成事業が終了したためであります。

190ページ(2)社会教育総務費の13節NPO支援センター業務200万円は、生涯学習課にNPO支援員を配置し、その業務を委託するものであります。この目には、そのほか191ページ(3)青少年健全育成費、192ページ(4)文化財費の事業があります。

次に、192ページ2目生涯学習推進費237万8,000円は、町民講座や趣味の教室など、各種講座に係る講師謝礼、生涯学習講演会、町民文化祭開催に係るものであります。

続いて、次ページの3目図書館費2,432万8,000円は、(1)の職員の人件費と(2)図書館管理運営費の臨時職員賃金、図書購入費が主なものであります。

194ページの4目生涯学習センター管理費1億3,595万8,000円は、(1)文化会館の管理運営に係る職員の人件費のほか、(2)文化会館等管理運営費8,064万3,000円、196ページの(3)体育施設管理費3,366万9,000円、(4)巡回バス運行費1,328万7,000円となっています。

(3)体育施設管理費の13節体育施設指定管理料3,147万3,000円は、平成23年度からNPO法人小山町体育協会に指定管理をしています総合体育館等、体育施設の指定管理料であります。

次に、197ページ5目自主文化事業費2,156万7,000円は、金太郎ホール等での自主公演事業に係る経費で、対前年度比936万8,000円、77%の増となっています。これは、町制100周年の記念事業を含めた自主文化事業費であります。

次に、197ページ下段から198ページにかけての6項1目保健体育総務費675万5,000円が、前年度に比べ329万6,000円減額していますのは、緊急雇用創出事業で実施したスポーツインストラクター育成事業が終了したためであります。

(2)社会教育振興費の19節体育協会助成金348万8,000円は、各地区の体育大会、各種のスポーツ教室等の開催に係る経費として、体育協会への助成金であります。

以上であります。

○議長(真田 勝君) 以上で、平成24年度小山町一般会計予算における各部長の補足説明は終わりました。

ここで10分間休憩いたします。

午前11時08分 休憩

午前11時18分 再開

○議長(真田 勝君) 休憩を閉じ、休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第2 議案第24号 平成24年度小山町国民健康保険特別会計予算

- 日程第3 議案第25号 平成24年度小山町育英奨学資金特別会計予算
- 日程第4 議案第26号 平成24年度小山町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第5 議案第27号 平成24年度小山町下水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第28号 平成24年度小山町土地取得特別会計予算
- 日程第7 議案第29号 平成24年度小山町介護保険特別会計予算
- 日程第8 議案第30号 平成24年度小山町水道事業会計予算

○議長（真田 勝君） 次に、日程第2 議案第24号から日程第8 議案第30号までの平成24年度特別会計及び水道事業会計の予算7件についてを一括議題とします。

なお、議案第25号 平成24年度小山町育英奨学資金特別会計予算、議案第28号 平成24年度小山町土地取得特別会計予算の2議案につきましては、2月24日に詳細に町長の提案説明がありましたので、部長の補足説明は省略します。

それでは、はじめに、議案第24号 平成24年度小山町国民健康保険特別会計予算、議案第26号 平成24年度小山町後期高齢者医療特別会計予算、議案第29号 平成24年度小山町介護保険特別会計予算の3件について、順次、部長の説明を求めます。住民福祉部長 土屋礼二君。

○住民福祉部長（土屋礼二君） はじめに、議案第24号 平成24年度小山町国民健康保険特別会計予算の説明を行います。

お手元の付属資料8ページをお開き願います。予算の総額を、歳入歳出それぞれ19億円といたしました。予算の規模は、前年度当初予算と比較しますと1億円の増額となっています。

国民健康保険の被保険者数は、昨今の景気低迷による影響で失業者の増加に伴い、国民健康保険に加入される方も増加している状況にあります。このような状況の中にあつて、国民健康保険特別会計は、前年比5.6%の伸びとなっておりますが、今後の医療費の動向によっては、基金の取り崩しや税率改正も視野に入れておく必要があると考えております。

次に、新年度予算の編成に当たり、留意いたしました事項について申し上げます。

はじめに、歳入の1款国民健康保険税4億2,245万3,000円につきましては、被保険者の税負担の公平化を図りながら、保険給付費、後期高齢者支援金等及び介護納付金の財源確保に努めているところであります。

4款国庫支出金、5款療養給付費交付金、6款前期高齢者交付金及び7款県支出金につきましては、静岡県国民健康保険団体連合会の試算及び国・県の負担指示率等に基づき積算し、計上したものであります。

一方、歳出の2款保険給付費、3款後期高齢者支援金等、4款前期高齢者納付金等、5款老人保健拠出金及び6款介護保険納付金につきましては、国の予算編成通知に基づき、静岡県国民健康保険団体連合会の試算額により計上したものであります。

8款保健事業費につきましては、平成20年度から医療保険者への義務化となりました特定健康診査・特定保健指導を重点施策としております。

以上で、国民健康保険特別会計予算の説明を終わります。

続きまして、議案第26号 平成24年度小山町後期高齢者医療特別会計予算の説明を行います。

附属資料につきましては、9ページの下段をお願いします。

本会計は、高齢者の医療の確保に関する法律による低所得者等の保険料減額分に対する一般会計からの繰り入れと、後期高齢者からの保険料を合算して、静岡県後期高齢者医療広域連合へ納付するものであります。

予算の総額は1億9,319万1,000円となっています。

歳入予算では、1款後期高齢者医療保険料1億6,812万7,000円と、2款繰入金2,351万1,000円は、ともに静岡県後期高齢者医療広域連合の試算に基づき計上いたしました。

歳出予算では、歳入予算の収入を静岡県後期高齢者医療広域連合へ納付金として納付するものであります。なお、後期高齢者医療保険料につきましては、去る2月13日に開催されました静岡県後期高齢者医療広域連合議会定例会において、保険料率の所得割率7.11%を0.28%引き上げ7.39%に、均等割額3万6,400円を1,500円増額し3万7,900円に、賦課限度額50万円を5万円増額し55万円の改定となりましたが、その上昇分を加味して算定されております。

以上で、後期高齢者医療特別会計予算の説明を終わります。

最後に、議案第29号 平成24年度小山町介護保険特別会計予算の説明を行います。

ページは、附属資料11ページとなります。まず、本会計の概要から説明いたします。

介護保険事業は平成12年度から開始され、3年ごとに事業計画などを見直ししております。本年度は第5期事業計画の1年目となります。

予算の総額は、歳入歳出それぞれ15億1,000万円といたしました。予算規模は、前年比15.6%の増となっております。

はじめに、1款保険料、65歳以上の第1号被保険者分を計上したものであります。3億2,264万8,000円で、前年比で30.8%の増となっております。

その他の歳入につきましては、それぞれの負担割合により、国・支払基金・県及び町からの繰り入れであります。

次に、歳出の2款保険給付費13億6,217万2,000円は、ホームヘルプサービスやデイサービス等の利用に伴う居宅介護サービス給付費、グループホーム等の利用に伴う地域密着型介護サービス給付費、特別養護老人ホーム等の施設利用に伴う施設介護サービス給付費が主なものであります。

4款地域支援事業費2,849万7,000円につきましては、二次予防事業対象者及び一次予防事業対象者に対して行う各種介護予防事業、地域包括支援センターを中心とした総合相談、虐待防止や食事の配達サービス、紙おむつの支給事業、ふれあい茶論、ミニデイサービス等の高齢者の生きがいと健康づくりを推進していくものであります。

以上で、平成24年度介護保険特別会計予算の説明を終わります。

以上であります。

○議長（真田 勝君） 次に、議案第27号 平成24年度小山町下水道事業特別会計予算、議案第30号 平成24年度小山町下水道事業会計予算の2件について、順次部長の補足説明を求めます。経済建設部長 後藤栄一君。

○経済建設部長（後藤栄一君） はじめに、議案第27号 平成24年度小山町下水道事業特別会計予算の補足説明を行います。

下水道事業特別会計は、予算書の280ページからとなっております。

はじめに、歳入関係であります。

予算書の285ページをお開きください。1款1項1目下水道使用料7,681万円は、1節下水道使用料及び手数料の説明1下水道使用料7,600万円が主なものであります。平成23年度の使用料の実績に基づき、前年度比398万5,000円、4.9%の減額を見込み、1,531戸分を計上したものでございます。

次に、下段から286ページにかけての3款国庫支出金、1項1目1節説明欄1の社会資本整備総合交付金300万円は、下水道施設における事故を未然防止し、及びライフサイクルのコストの最小化を図ることを目的として、施設の健全度に関する点検・調査の結果に基づき、長寿命化に係る計画を策定する事業に対して交付されるもので、後ほど歳出でも御説明しますが、須走浄化センター長寿命化計画策定業務委託事業費600万円に対する補助率2分の1の国費でございます。

次に、同ページ中段、4款1項1目一般会計繰入金8,968万3,000円は、下水道特別会計における歳入歳出の差額を一般会計から繰り入れるもので、昨年度比203万4,000円、2.2%の減額となっております。減額の主な要因につきましては、職員1名減員による人件費分と、一方、須走浄化センターの長寿命化計画策定業務委託に伴う増額分の差額によるものでございます。

次に、歳出関係であります。

288ページから290ページにかけての1款1項1目下水道総務費7,647万4,000円ではありますが、前年度比905万2,000円、10.6%の減額を見込みました。

主な内訳といたしましては、289ページの説明欄、消耗品費430万円、これは須走浄化センター汚泥処理用薬品及び滅菌用薬品、また脱臭用活性炭代。光熱水費758万5,000円は須走浄化センターの電気料及び水道料金とマンホールポンプ15か所分の電気料であります。修繕料700万円はマンホールポンプ場の2か所4基分の修繕と須走浄化センター内の電気設備等の修繕料であります。

中段から次ページにかけて、須走浄化センターの運転・維持管理等の9業務、4,255万2,000円の委託料であります。

次に、291ページをお願いいたします。2項1目説明欄1行目の須走浄化センター長寿命化計画策定業務委託600万円は、歳入で御説明しました国庫補助対象事業で、平成24年では対象設備の選定・基礎調査を行うものでございます。

次に、2款1項1目元金の説明欄23償還金元金6,416万6,000円ではありますが、平成6年度から平成15年度までの間に借り入れた32件分の償還金元金であります。

その下、2目利子の説明欄償還金利子2,554万1,000円は、借り入れております32件分の起債に対する償還金利子でございます。

以上で、下水道事業特別会計予算の補足説明を終わります。

続きまして、議案第30号 平成24年度小山町水道事業会計予算の補足説明を行います。

水道事業会計予算書につきましては、別冊となっておりますので、よろしくお願いたします。

予算書の4ページをお開き願いたいと思います。平成24年度の水道事業会計の業務量であります。第2条の業務の予定量に記載してありますように、給水戸数7,118戸、年間総給水量361万7,397トン、1日平均給水量は9,910トンであります。主な建設事業は、第4期拡張事業に基づく小山水系及び北郷水系の配水管布設工事などの計画をしているところであります。

それでは、収益的収入及び支出についてご説明いたします。予算書の22ページをお開き願います。

収益的収入の1款1項1目給水収益の1節水道使用料2億300万円は、給水戸数7,118戸分を見込み、対前年度比0.1%の増ではあります。今年度の使用水量の実績に基づいて計上したものでございます。

また、3目その他営業収益の2節手数料545万円ですが、加入分担金の400万円と下水道使用料受託収益の120万円が主なものであります。

次に、23ページをお願いたします。収益的支出の1款1項1目原水及び浄水費ですが、13節委託料1,278万円は、説明欄の水道施設の巡回・点検業務委託の598万5,000円と、水質検査業務委託の626万5,000円が主なものであります。

下段の18節動力費2,000万円は、水源施設などの63施設の電気代で、今後の上昇分を見込んでおります。

次に、24ページ上段の2目配水及び給水費ですが、中ほどの16節修繕費1,980万円は、配水管及び給水管の漏水などの修繕と、計量法に基づく量水器の交換等を実施するためのものであります。

次に、同ページ下段から25ページにかけての4目業務費ですが、25ページの中ほど、13節委託料741万6,000円は、年間約4万9,000件に対する検針業務と、企業会計処理等に必要な電算業務を委託する費用であります。

次に、同ページ中段から26ページにかけての5目総務費ですが、26ページ中ほど13節委託料128万1,000円は、町制施行100年記念品として小山町の安心安全な水のアピールや、防災対策としての備蓄の啓蒙用として、2リットルのペットボトルを1万本作成するもので、各家庭や各種記念イベントで配布を予定しております。

次に、6目減価償却費は、棚頭第2配水池等の工事完成に伴う減価償却の開始により、前年度より400万円の増額を見込みました。

次に、27ページをお開きください。7目資産減耗費172万1,000円は、取水ポンプの交換等によ

る資産除却費用であります。

次に、2項1目支払利息及び企業債取扱諸費の37節企業債利息534万2,000円は、昭和57年度から平成23年度までに借り入れた18件分の企業債償還金利子であります。

次に、28ページをお願いいたします。資本的収入及び支出について御説明をいたします。

はじめに、資本的収入の1款1項1目1節企業債3,000万円は、上水道第4期拡張事業であります北郷水系配水管布設工事と、県道沼津小山線配水管布設工事の実施に伴う企業債で、昨年度に比べ2,000万円の増額を計上いたしました。

次に、3項1目1節国庫補助金1,256万円であります。防衛補助事業として実施いたします北郷水系配水管布設工事と、県道沼津小山線配水管布設工事に対する防衛省からの補助金であります。

次に、29ページをお願いいたします。資本的支出であります。1款1項1目水源施設費の41節工事請負費1,300万円は、向方及び御登口第1水源の取水ポンプ交換等の施設整備工事を実施するためのものがございます。

次に、2目配水施設費であります。下段の13節委託料2,454万円は、滝沢簡易水道及び大御神公営簡易水道について、上下水道への統合に伴う基本計画書及び県へ提出する事業認可の変更届け出書等の作成業務委託と、水道用地購入のための測量業務等でございます。

次に、41節工事請負費1億2,661万3,000円は、第4期拡張事業に基づき、水道水の安定供給を図るため、北郷水系配水管布設工事を含む合計8件の配水施設等の整備工事を実施するものであります。

次に、30ページの2項1目企業債償還金1,082万4,000円は、昭和57年度から平成18年度までに借り入れた13件分の企業債の元利償還金であります。

次に、少し戻りますが、16ページをお開き願います。平成23年度の水道事業予定損益計算書であります。これは水道事業会計の営業状況をあらわしているものがございます。

下段の当年度末処分利益剰余金644万8,000円余は、平成23年度の決算見込額を考慮して計上したものであります。前年度予算対比1,146万4,000円、64.0%の減額となっております。主な要因は、先ほども御説明しましたが、水源施設等の電気代、減価償却費、資産減耗費の伸びによるものであります。

次に、19ページをお開き願います。平成24年度の水道事業予定貸借対照表であります。これは水道事業会計の財政状況をあらわしているものがございます。はじめに、資産の部であります。1の固定資産合計は、下から7行目、45億63万1,000円で、前年度予算比1億6,215万円、3.7%の増額を見込んでおります。主な要因は、配水池の築造・配水管の布設・ポンプ設備・電気設備などの工事に係る資産の増によるものであります。

次に、20ページの資本の部であります。利益剰余金合計は下から4行目、2億8,547万9,000円で、この額が当年度以降における資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額を補てんする

財源の一つとなるものであります。

以上で、水道事業会計予算の補足説明を終わりにします。

○議長（真田 勝君） 部長の補足説明は終わりました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

次回は、2月29日水曜日 午前10時開議

議案第23号から議案第30号までの平成24年度予算8件を順次議題として、質疑、委員会付託を行います。

本日はこれにて散会いたします。

午前11時44分 散会

この会議録は事実と相違ない事を認めここに署名する

議 会 議 長 真 田 勝

署 名 議 員 阿 部 司

署 名 議 員 池 谷 弘